

## 第30回豚の繁殖衛生セミナーの開催

平成15年8月28日～29日の2日間、動物衛生研究所大会議室において、第30回豚の繁殖衛生セミナーが開催された。今回は、公立、独立行政法人および民間の試験研究機関や大学から55名が参加した。一般演題10題に加え、1題の特別講演が行われた。演題および発表者は次のとおり。

- (1) 豚凍結精液作成時の耐凍剤の検討  
青萩 芳幸(鳥取県中小家畜試験場)ほか
- (2) 10 保存された豚精子の体外受精能と人工授精の成績  
舟橋 弘晃(岡山大学)ほか
- (3) 豚後期桑実胚におけるガラス化保存法の比較試験  
中根 崇(千葉県畜産センター)ほか
- (4) ガラス化融解後に選別した豚胚の受胎性について  
仲澤 慶紀(神奈川県畜産研究所)ほか
- (5) 胚移植を用いた育種素材の導入について  
三角 浩司(家畜改良センター)ほか
- (6) 特別講演 豚胚の体外生産  
吉岡 耕治(動物衛生研究所)
- (7) 完全合成培地を用いた体外生産胚の非外科移植による子豚の作出  
鈴木 千恵(動物衛生研究所)ほか

- (8) 体細胞クローン豚作出法の改善の試み  
岩元 正樹(プライムテック)ほか
- (9) ハンディー型腔内電気抵抗性測定器による繁殖機能推定と実用性  
八代 雅江(麻布大学)ほか
- (10) 機能性添加物が繁殖成績に及ぼす影響  
曽根 勝(物産バイオテック)
- (11) 繁殖衛生にかかわる実態調査  
岩村 祥吉(動物衛生研究所)ほか

今回も、それぞれの演題について活発な意見交換や情報交換がなされた。また、総合討論において、セミナーが30回になったことを記念して、全国的規模での豚の繁殖にかかわる調査の実施について検討され、会員の協力を得ながら、進めていくこととなった。次回は、初夏のころに動衛研で開催することが了承された。

(生産病研究部臨床繁殖研究室長 岩村祥吉)

## 寺門誠致理事の退任記念講演

第618回水曜会が平成15年9月24日(水)に開催され、農業技術研究機構の寺門誠致理事が講演されました。寺門理事は、これまで動物医薬品検査所、家畜衛生試験場、農林水産技術会議事務局、動物衛生研究所と様々な立場から家畜衛生分野の研究活動の第一線で活躍してこられました。平成13年4月に農業技術研究機構が発足してからは、畜産研究担当理事として、当所および機構内における畜産草地、家畜衛生部門の運営にご尽力いただきました。今回の講演では、これまでの研究生活を振り返って感じたことや若手研究員へのアドバイスなど長年のご経験に基づく貴重なお話を拝聴することができました。

(情報資料課長)



講演中の寺門農業技術研究機構理事